



新設の北西中学校に登校する生徒

# 55年度予算決まる

### 3月定例会

昭和55年度甲府市予算額

|      |               |
|------|---------------|
| 一般会計 | 273億4,730万円   |
| 特別会計 | 264億6,831万5千円 |
| 総 額  | 538億1,561万5千円 |

福祉の後退なく新施策を推進

三月定例会市会は、三月七日に招集され、市長から提出された市営住宅条例等二十六件、昭和三十五年予算十一件、一般会計をはじめとする昭和三十四年度補正予算七件、助役の任命等人事案件五件、当局原案のとおり可決・同意しました。

また選挙管理委員会委員と補充員の選挙を行い、さらに意見書二件の提出を決め、三月二十八日に二十二日間わたる会期を終わって閉会しました。

高校授業料改正  
同和对策資金条例  
等は多数で可決

三月定例会に提出された、昭和五十五年度甲府市一般会計並びに各特別会計予算は、財政の硬直化、自

賛成多数で、そのほかの議案については、全員異議な

問題に關連し、今後公共用

地の取得については、公簿

面積による買収を原則とし、買収することが確認さ

主財産の純価、文化物価上昇による義務的経費の増高など激しい状況下の中でも前年度に引き続き新長期総合計画を軸とした「福祉の向上」「教育、文化の振興」「生活環境の整備」「産業の振興」「都市基盤の整備」の推進のため、一般会計特別会計も含め五百三十三億と大幅な増額を遂げた。

また選挙管理委員会委員も同補充員の選挙では、指名推選より委員、補充員それぞれ四名が当選し、一八歳会での一般質問としては、協議会で各党派を代表して質問を行い、予算の内容、機構改革の真意、山梨県民への対応問題などに論議が集中し、昭和五十五年朝久地区部整理事業、西下条、尿処理場移転に係わる問題についても、市長の姿勢、市民に対する対応のあり方などが強く求められ、市役所の運営意識と理解を深めるとの連帯意識と精神で今後対峙すべきとの見解が示された。

十八億円を超える大型予算となっている。

この総合計画の大型事業推進のための調整管理部門、技術管理室をはじめ国体準備費予算の増高と起債への依存等本市の財政見通しについて、当局に対し、今後財源確保に意をそそぎ、長期的視野に立った効率的財

本定例会最終日には、助役・選任など人事案件五件が追加提案され、全員異議なしで原案のとおり同意

備室の新設、合市民会館  
建設のための基金条例、中  
小企業者の振興融資条例、  
商業高校授業料の改正条例  
などが主なものでありま  
す。

政運営を期するより強くと  
計画、今後国体及び新総合  
計画の推進にあたっては必  
要最小限の機構及び人員  
で対応していきたいことが当局  
から示されました。

更に、池田公園用地買収  
事を終了しました。

正）「電力供給作業従事者  
の電気災害予防」に関する  
二つの意見書を内閣総理大  
臣は各関係省庁内に提出す  
ることを決め、すべての議  
事を終了しました。

新助役に三神氏  
収入役に篠原氏  
監査委員に岡田氏を同意

ることにについては、父兄  
担の軽減のうえからも納  
でず、この条例改正及  
予算について反対を表明  
いたします。

---

金たな性格が強く、不  
以上の立場に立って  
の条例、予算に反対を  
いたします。

すか、甲府商業高校の授  
料の値上げについては、  
府の公共料金の値上げ政  
策に呼応するものであり、  
回の五〇パーセント、更  
十七年度再引上げを  
の支出は同和団体への  
を一般的市民生活の  
に引き高いというも  
あって、高い生活水準  
人には適用すべきで  
い。また委託料二〇〇

カ年計画を堅持し、市民が  
ない貸付事業であつた。  
「いのち」と「くらし」  
守るうえで教育と福祉を  
点とした積極的な内容で  
賛成できるものであり  
去の経済的、その他の  
法は

引き上げにより国民の大多数の生活は根柢からおびかされています。

こうした中で当局から提された予算案等は、長期つかの問題点が指摘されます。まず対象者認定の

今日の物価高、高負担、  
切切り下げ、国鉄をはじめ  
する公共料金の高騰、大  
手数料中の値上げ分につ  
いて  
算中歳入第七款使用料及  
燃料について  
同和行政は、同和对  
別措置法に基づき、属  
義を前提としたもので  
ます。  
現在本市がとつてい

議案第二十八号甲府市市立金等貸付事業特別会計  
等学校授業料及び入学審  
料条例の一部を改正する  
年度一般会計歳出第三  
生費一項一目社会福祉  
費中同和对策事業に係

議案第三四号甲府市  
対策住宅新築資金等貸  
例制定、議案第七号昭  
十五年度甲府市住宅新

## 反對討論要旨

議案第二八号甲府市市立  
高等学校授業料及び入学費  
料条例の一部を改正する  
十五年度甲府市住宅新  
金等貸付事業特別会計  
及び議案第一号昭和五  
年度一般会計歳出第三

例制定 議案第一号昭和五十五年度甲府市一般社会料中歳入第七款使用料及手数料中の値上げについて

今日の物価高、高負担、福祉切り下げ、国鉄は、大正の公共料の面、あるは

生費一項一目社会福祉費中同和对策事業に係る料については

同和行政は、同和对別措置法に基づき、属義を前提としたものです。

現在本市がとつて、

引き上げにより国民の大多数の生活は根柢からおびやかされています。

こうした中で、当局から提議された予算案等は、長期計画を堅持し、市民の「いのち」と「くらし」を第一とするものであります。

人主義のやり方は法律の得ないばかりか、つきの問題点が指摘されています。まず対象者認定のあたらない貸付事業であること。次に所得制限がな

守るという教育と福祉を  
達成できるものであり  
甲府商業高校の授  
府の値上げについては、  
の公共料金の値上げ政  
呼応するものであり、  
の五〇パーセント、更  
い。また委託料二〇〇

五十七年度再引上げをの支出は同和団体への  
ることについては、父兄金たな性格が強く、不  
担の軽減のうえからも納である。  
得てきず、この条例改正及以上の立場に立って  
予算について反対を表明の条例、予算に反対を  
たします。いたします。

新助役に三神氏  
収入役に篠原氏  
監査委員に岡田氏  
を同意

(三神俊一郎氏の略歴  
東京大学法学部卒、

|   |           |            |
|---|-----------|------------|
| 日 | 休会        | 条例・予算特別委員会 |
| 日 | 休会        | 条例・予算特別委員会 |
|   | 各特別委員会報告書 |            |
|   | のため休会     |            |
|   | 本会議       | 各特別委員会     |
|   | 告 閉会      |            |

(篠原憲造氏の略歴)

昭和二十五年五月市  
 に入所以来、市立甲府  
 事務局長次長、福祉部  
 済部長を歴任、五十四  
 県地方理事兼管理者  
 員、六十四次  
 員、六十四次

20日  
21日～22日  
23日  
24日～26日  
27日  
28日

(岡田政治氏の略歴)

昭和二十一年一月市  
に入所以来、市民部長  
会部長、市立甲府病院  
局長を歴任 五十四才

昭和五十五年三月市議会  
定例会提出議案と内容

[illegible]







